

博報堂 2004 年度入社式

博報堂は4月1日(木)午前10時、東京都港区芝浦の本社に新卒採用者77名を迎え、宮川智雄会長、成田純治社長以下、在京の全役員および部門長が出席して、2004年度入社式を行いました。新入社員が一人一人紹介されたあと、成田社長が歓迎と激励の言葉を送り、式を終了いたしました。

成田社長の挨拶の趣旨は以下の通りです。

本日、77名の無限の可能性を持った皆さんを、新しい仲間として迎えることを、会社を代表して、心より、歓迎します。

2004年は、博報堂にとって特別な年となります。昨年、博報堂は株式会社大広、株式会社読売広告社との経営統合を行い、100年を超える博報堂の歴史の中でも最も大きな変革に取り組みました。その真価が問われる最初の年が、今年度ということになります。

日本は長い不況のトンネルを抜け、経済はようやく再生の兆しを見せつつあります。しかし、社会を取り巻く環境は日々大きく変化しており、企業の生き残りを賭けた競争は厳しさを増しています。そのような時代の中、博報堂は挑戦し続ける意欲をもって、経営統合とそれに続く改革に取り組んでいます。

この改革の中、我々の目指すものは、次の二つです。

一つ目は、「クリエイティブであること」です。博報堂は得意先の「パワーブランド・パートナー」となるために、もっと「クリエイティブな力」を磨いていかなければなりません。クリエイティブな力とは、一人一人の個人に宿るものであり、個人のクリエイティビティが、全社のクリエイティビティを生み出します。博報堂は個人を信じ、大事にしてきた会社です。皆さんも、自分なりのクリエイティビティを大事に育て、発揮して下さい。

二つ目は、「グローバルであること」です。得意先の海外進出の本格化に対応するため、我々には海外の広告ビジネスやマーケティングについて精通することが求められています。その為に基本となることは、語学力であり、最低でも一つの外国語を習得して欲しいと考えています。

皆さんが「クリエイティブ」と「グローバル」を中心とした高い能力を身につけ、成長してプロになること、このために、会社は助力を惜しみません。皆さん個人の価値が博報堂の価値を高め、また博報堂の社員であることが、皆さん個人の価値を高める、お互いに誇りをもてる関係を築いてまいりましょう。自らを信じ、博報堂という舞台で思う存分、その力を発揮して頂きたいと思います。

以上

2004年4月1日
株式会社博報堂
広報室